

天塩川の河川整備・管理について

今シーズン(16年から17年)の雪の降り方また、16年の雨の降り方を振り返って考えると、ある一定の地域に局所的に降った雪・雨等が降った地域及びその流域に大きな災害をもたらす公共の財産また個人的財産に大きな被害を与えています。また、降雨・降雪地域とそれによって引き起こされる災害地域(河川流域、下流域)とが異なる場合もあります。

自然の貯水能力と水(雨・雪)の降る量とそしてそれに見合う河川整備・管理のバランスが取れている場合は良いのですが望みどおりにいかないのが現状であり災害を引き起こす原因であると思われます。

我々の生命、財産及び公共のまた、自然の財産を守る為にも知恵を使った流量を調節するダムが必要でありその水の流れを制御しコントロールする為にもまた、さまざまな人たちの知恵を出し合った河川に於ける治水事業は必要不可欠であります。またそのダム、河川の価値を高め、有効活用し我々の生活をより豊かにする為にも河川の環境整備(水辺環境)は必要であります。

美深町には、天塩川と言う大きな川が道路と並行に町の中心を南から北に向かって悠然と流れています。

国、道、町の方々には、雨、雪等自然災害からまた人的災害から我々の生命、財産を守る為に日夜努力をして戴いており大変感謝しています。

しかし、テレビニュースなどで河川の氾濫等の災害を見るたびに我々の町の我々の天塩川は町の人たちの生命、財産を守り抜くことが出来るようにハード面が施されているかどうか非常に不安となります。過去に何度もの水害を経験したにもかかわらず未だに整備目標流量を安全に流す断面が完成していません。過去の経験は、未来をより豊かにする為のものでなければなりません。

国、道、町は松浦武四郎が命名した天塩川とその流域に住む人たちの生命財産を守り安全で快適な生活が出来るようそれぞれの知恵を結集して早期にそして計画的に必要な最低限の河川の整備及び管理を望みます。